

堀公弘氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

年々沼津の人口は減少し、沼津駅周辺の商業施設も次々に撤退し元気のない沼津と言う印象になっている。「そう決まっている」「どうせ無理だろう」と変わることを諦めたら沼津は更に衰退してしまう。若い世代に選ばれる沼津にしたいと言う強い思いから立候補を決意した。子育て政策を更に充実させ、若い世代の人口を増加させ街に賑わいを取り戻し、地元の産業や企業が元気になり結果として沼津が潤っていく好循環を作りたい。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少・少子高齢化の問題。現在の沼津市の人口は約189千人。2040年には145千人に減少すると予想されています。そして現在の沼津市の高齢化率も約32%と非常に高い状態です。今後予想を上回る人口減少・少子高齢化が想定されます。子育て世代の若い方々が子育てしやすい市外に流出又は大学等で市外に出たまま沼津に帰ってこないという様々な問題があります。他市に負けない子育て・若者の雇用政策が必要です。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

鉄道高架事業による沼津市の再生はないと考えます。事業費も増加し沼津市の負担も非常に大きくなった。玄関口を巨額の費用を掛けて大きくしても活性化に直結はしない。将来の世代に重くのしかかる借金（市債）が増えるばかりです。費用が安く早期に実現できる南北の自由通路で十分に対応できます。市内には古くなった公共施設（学校・水道管・橋梁等）が数多くあります。まずはこの公共施設の更新を進めたいと考えます。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

国の予測をも下回る可能性もある。年々沼津市の人口が減少している状況を見ても分かるように「若い子育て世代」に選ばれない街になってしまっている。長泉町は20年間で人口が7千人も増加した。子育て政策を他の街に負けない政策が必要だ。そして地元の産業・企業をしっかりと支援して雇用も確保していく。子育て政策と雇用確保はセット。机上の政策ではなく若い方の意見をしっかりと聞いて反映させていくことが重要です。